

船舶事故等調査報告書

平成23年7月28日  
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2011神第34号
事故等種類	乗揚
発生日時	平成23年2月19日（土） 03時30分ごろ（現地時間、以下同じ。）
発生場所	カリブ海西部 セラナ・バンク（コロンビア共和国領） サン・アンドレス島（コロンビア共和国領）から北東方約140海里付近 （概位 北緯14°24.5′ 西経80°07.2′）
事故等調査の経過	平成23年2月22日、本事故の調査を担当する主管調査官（神戸事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。
事実情報	
船種船名、総トン数	ヨット <sup>ブルクラスリー</sup> Pulchra III、30トン
船舶番号、船舶所有者等	141184、株式会社エヌコンサルティング
乗組員等に関する情報	船長（フランス共和国籍）、一級小型船舶操縦士
死傷者等	なし
損傷	全損
事故等の経過	<p>本船は、船長が1人で乗り組み、同乗者Aほか4人を乗せ、船首尾とも約1.6mの喫水でパナマ共和国に向けてカリブ海西部を機帆走により南進した。船長は、平成23年2月19日03時00分ごろ同乗者Aから操船を引き継ぎ、GPSで浅所であるセラナ・バンクを確認して航行を続けていたところ、本船が、03時30分ごろ、セラナ・バンク東側の岩礁に乗り揚げた。</p> <p>本船は、イパーブ、衛星電話及びVHFを使用して救助を求めた。</p> <p>乗船者は、船底部からの浸水量が増加することから、救命いかだに乗り込んで離船し、水深約5～6mのところまで錨を入れて救助を待っていたところ、17時00分ごろ来援したアメリカ合衆国コーストガードの巡視船に全員が救助され、サン・アンドレス島に移送された。</p>
気象・海象	<p>気象：天気 晴れ、風向 北東、風力 4、視界 良好</p> <p>海象：海上 波があった</p>
その他の事項	<p>本船は、セラナ・バンクの東側を通るコースで南進した。</p> <p>船長は、カリブ海の島々には何度か行ったことがあったが、今回のコースは初めてであった。船長は、GPSでセラナ・バンクを確認したが、乗揚場所付近の水深は約300mあると思って航行した。</p> <p>同乗者Aは、日出後、乗揚場所の周囲を確認し、かなり広い範囲に浅所があることを知ったが、2009年11月に本船が進水したので、GPSには最新の海図データが入っていると思っていた。同乗者Aは、セラナ・バンクの実際の位置と海図の位置とが違っているのではないかと思った。同乗者Aは、本事故後、船長歴を有してサン・アンドレス島に派遣されていた人からカリブ海の手図の精度が100%ではないこと、また、他の人からセラナ・バンク付近では乗揚事故が多発していることを聞き、初めて</p>

	航行する海域で浅所があれば、浅所を十分に離すように迂回して航行した方がよかったと思った。	
分析	乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	あり なし なし 本船は、カリブ海西部のセラナ・バンク東方沖を南進中、浅所であるセラナ・バンクに接近する針路としていたことから、セラナ・バンク東方に拡延する岩礁に向けて航行して乗り揚げたものと考えられる。
原因	本事故は、夜間、本船が、カリブ海西部のセラナ・バンク東方沖を南進中、セラナ・バンクに接近する針路としていたため、セラナ・バンク東方に拡延する岩礁に向けて航行して乗り揚げたことにより発生したものと考えられる。	